

ユーラシア研究所 講演会

# アンナ・ポリトコフスカヤとロシアの陪審裁判

講師 小森田 秋夫 (東京大学社会科学研究所)

2009年5月23日(土)午後5:00~

於: 東京ロシア語学院 202号館 (小田急線経堂駅下車 徒歩5分)

\* 参加費: 会員無料 / 一般 1,000円 学生 500円

日本では、裁判員制度が、その是非をめぐる論争を伴いながら、いよいよスタートする。ロシアでは、15年前に陪審裁判が復活した。変化の中にあるロシア社会を映し出す鏡のひとつという観点から、ロシアの陪審裁判について考える。

1. ニキータ・ミハルコフの「12人の怒れる男」
2. ロシアにおける陪審裁判の復活
3. 刑事裁判への国民参加をめぐる2つのまなざし
4. アンナ・ポリトコフスカヤの陪審裁判論
5. アンナ・ポリトコフスカヤ殺害事件の陪審裁判
6. 陪審裁判・死刑・チェチェン

【参考】 小森田秋夫『ロシアの陪審裁判』(ユーラシアブックレット、東洋書店)

主催: ユーラシア研究所  
東京都世田谷区経堂1-11-2  
Tel: 03-5477-7612  
Email: yuken@t3.rim.or.jp  
<http://www.t3.rim.or.jp/~yuken>